

## 令和2年度第2回宮代町観光ビジョン策定検討会議議事録

■日時：令和2年12月16日（水）15時00分～16時40分

■場所：進修館研修室

■参加者：中嶋庸子、千葉美香、千葉庄一、須藤晃応、小矢島恒雄、  
山本豊、小川まなみ、岩岸悟

<事務局>井上課長、野口副課長、山内主査

傍聴者：1名

### 1 開会

井上産業観光課長挨拶

### 2 会議内容

観光モデルの検討

小川：東武動物公園駅に降りたときに東武動物公園があるのは知っているが、どこに何があるのかわからない。そのためマップがあることで何をしようというプランを立てることができる。主婦目線で考えると子供と出かけた場合、帰ってからご飯を作るのは大変なので、食べていこう、買っていこうという考えになる。ただ、そういったお店がないのが現状である。

テイクアウトができたりすると助かる。また、電車で来た方はお酒を飲めるのが利点なのでそういったお店があってもいい。

千葉庄：良品計画さんが研修の中でかなりのアイデアを出してくれている。新しい村までの道は、宮代の顔である。今度行われるクリスマスマーケットがひとつの実験にはなる。ただ、普段の道は店が閉じているイメージがある。そのため、キッチンカーでどういうふうに展開できるか、キッチンカーでの参道の演出が必要。中心ラインで店を展開させるのがいい。

町：食べる場所が少ないといった意見があった。参道でどんな商売でもやればいいのかと考えている。今の西口は商売が少ないと思われる。商売の場所としてはどうか。事業者の方に伺いたい。

須藤：商売の場所としてはいい場所だと思うが、家賃が高いと聞いている。テナントが入れば活気が出てくると思う。東武動物公園に遠くからきている人は、荷物になるためテイクアウトは望まない。そのため、東武動物公園の来場者で何か期待するのは難しい。テイクアウトというより食べ歩きがいいと思う。テナントの客や東武動物公園の客以外の方で流れを作っていかなければならない。人の流れがあるので悪い場所ではない。

町：立地としてはいいということか。

須藤：昔、駅前にケーキ屋があったが、東武動物公園の客は来なかった。客はケーキという目的のために来店してくれた。

町：誰をターゲットにして稼ぐかということが大事ということか。装飾やサインといった点ではどうか。

山本：歩いて楽しいとか面白いとかがあるといい。東武動物公園から商工会の間にはカバとゾウの絵が路面にあり、駅前に近づくと動物の足跡が施されているが、区間区間でバラバラで統一感がない。新しい村の看板が駅に近づくと少なくなって目立たない。東武動物公園の客に動機づけをしたほうがいい。駅にパンフレットが置いていないのはなぜか。西口エリアのマップと情報を盛り込んでつくってはどうか。

町：農と自然のキーワードのところで伺いたい。中心は新しい村になると思う。

千葉美：新しい村では農体験の講座を開催している。キャンプについても試験的にやっていただいたことがある。試験的には良かったが、どのようにやっていくか仕組み自体を考えていけたらと思っている。東武動物公園とのコラボもやっていきたい。

千葉庄：ガイドクラブでも産直ウォークとかやっている。積極的な農家さんがいるので、どのように事業に関わってもらおうかである。1年間通じての農体験があったらいい。農体験、自然体験は個々ではやっているがつなぐ人がいない。

町：推進組織がないのが課題でこれをやっていかないと観光推進になっていかない。東武動物公園の東口ゲートの池と周り的大木に意味はあるのか。

中嶋：外側からの目隠しの意味で植えられている。あとは日陰効果。

町：新しい村とのつながりが阻まれている感じがしたので、池の活用を何かできなにかということでお聞きした。

中嶋：社内でも検討事項となっており、釣り堀の復活なども検討しているが、採算が取れないためこのままになっている。

山本：レジーナはどうなっているのか。

中嶋：車両の問題でクローズしているので、復活出来たらいいなと思っている。

小川：車で東武動物公園から村へ行く場合、道が狭くて行きづらい。今のままでは、大型バスも入れないので、道路を広くできないか。

町：確かに狭くて危険ということはある。できたらいいなとは思ってはいる。

千葉庄：この町は、大型バスで入ってくるのが難しい。大型バスを止めるには新しい村しかないので、あの池を埋め立てて道路を広げてほしい。又は、図書館のほうに大型バスを止める場所を作ってはどうか。

町：外からのアクセス道路も含めて新しい村を考えていかなければと思う。

山本：図書館側から新しい村に行くほうが新しい村の価値が上がるのではないか。

町：次に宮代ブランドと食について伺いたい。

小川：参考例にあったコンテストだが主催者が問題だと感じた。例にあった商工会とかが主催者だと商工会会員しか出れないかもしれないといった問題が生じる恐れがあるので、観光協会や町が主催しないとダメかなと思った。

町：主催者が大事であるという意見だったと思う。

須藤：メイドインみやしろを活用しながらPRできればいいと思う。

町：メイドインみやしろを強化していきたい。

岩岸：県内でブランドに携わる仕事をしている。主催者をどこにするのが課題となっている。新商品は、アイデアやお金も時間もかかるので既存商品をブラッシュアップしながら販売展開を考えていかなければならない。また、駅前に観光案内所がないのが問題。全国的にどこの市町村でもある。だいたいそこに飛び込んで何をやっている、どこに行きたい、食事したい、土産買いたいなどを調べる。観光は、見る、食べる、買う、体験するがキーワードでそこにスポットライトを当ててやっていく必要がある。最低限、パンフレットを配置できる場所を用意しないとせっかく参道の動線を作っても活かされない。

函館の例だが、民間の家に案内所の看板を作って民間人が案内をしている。観光の中身的には宮代町はすべてそろっているのに、交流人口を増やす概念でやっていくしかない。そのためには、観光案内所は不可欠である。

さきほど話のあった駐車場だが、埼玉県全体がそうなっている。大型バスが入れないなら中型バスを中心にしてはどうか。パーク&ライドならまち歩きが出来そう。宮代町は、ツアーより着地型観光が向いている。

千葉庄：観光協会があったらいいという話は過去にもあった。宮代町にはいくつかの団体があるが、それをまとめようという人がいない。

町：物産館ができればと思っているが、方式としては買取か委託のどちらか。

岩岸：県でやっている物産館は基本買取である。ただ、賞味期限が長いものは委託で取り扱っている。またこういった物産館（アンテナショップ）は、補助金がないと厳しい。イートイン機能は最終的には必要である。

須藤：商工会青年部でもそうだが、個々で伝えようとしてうまく伝わっていない。案内所やアンテナショップがあるのは売る売らないというよりPRとしての効果がある。

山本：レンタサイクルの受付を進修館でやっているのだから案内所を任せることは

できるか。また、アンカルクさんのノウマチも可能性があるのではない  
か。また、東武ストアさんにもスペースがあれば可能性があるのではない  
か。

小川：千葉庄一さんから民間活力を活かしてと話がありましたが、良品計画さ  
んや東武鉄道さんが果たして東武動物公園駅から新しい村までの参道計  
画にそこまで考えてくれるのかということに疑問がある。

千葉庄：実は、良品計画さんが行った研修報告会に参加させてもらった。その  
研修の中の提案で宿泊施設やキッチンカーなどの話があった。実際に山  
形県でやっていてモデルがあり、それを宮代町に持ってくるイメージが  
ある。

町：今お話のあった良品計画さんの研修は、良品計画さんの社会実験の一環で  
ある。良品計画さんが町にある資源を使わせてもらう立場になるというこ  
と。また、駅には町を紹介するショーケースがあるが、感想を伺いたい。

小川：よく駅を利用するが、あの場所は誰も立ち止まらない場所である。季節  
によって内容を変えているようだがPRの効果は薄いと思われる。

山本：私は装飾してあって楽しい雰囲気が出ていると思った。

千葉庄：あの場所に大型ビジョンがあつて動画が流せるとPR効果が高まる。

小川：動物公園の前に大型ビジョンがあるといい。ショーケースも改札の外に  
出した方がいい。大宮駅などではマンスリーショップがあり、様々なも  
のを販売している。宮代町でも駅にマンスリーショップを作れば八宝堂  
さんの茶マンなどは売れると思う。

千葉庄：コンコースにマンスリーショップをつくれればいい。

町：今日の意見をもとに最終報告書をまとめていきたい。次回、素案を提示す  
るのでそれを議論していきたい。

### 3 次回の会議日程について

→次回は、令和3年2月予定

### 4 閉会